

B 1 2 1 初 級	<h1>化学分野の特許調査</h1> <p>特許公報の記載事項を把握した技術用語・特許分類の見つけ方 元審査官からみた検索の考え方、特許文献の見つけ方</p>
講師	山田 拓 (TMI 総合法律事務所 元特許庁第 3 部審査官)
日程・場所	東京会場 6 月 7 日 (水)、2024 年 3 月 15 日 (金)
時間	1 日間 (10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	14 名 (先着順申し込み)
受講料	20,000 円 (税込 22,000 円)
対象	化学系分野の特許調査担当の初級者以上
内 容	
<p>化学分野における特許調査は、新規性を基軸とした特許調査を行いつつ、進歩性に関するアプローチも調査に取り入れていかないと、事業や研究開発に繋がられる適切な調査を行うことができません。</p> <p>本セミナーは化学分野の企業での開発経験があり、特許庁で審査官を経験し、審査のノウハウを知り尽くしたベテラン講師が、研究者等からのアイデアを権利化するにあたり、審査官による調査・審査を見据えた調査プロセスとそのノウハウをお伝えします。開発部門や知財部門調査担当者のスキルアップ講座としてご活用下さい。</p>	
プログラム	
<p>1. 検索の基本</p> <ul style="list-style-type: none">検索について先行技術文献調査についての考え方進歩性を考慮した検索の考え方審査官の行う検索手法審査官から見た適切な検索の仕方 (ご提案) <p>2. J-Platpat を用いた事例の検索について</p>	

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。